

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援くるく3
------	------------

公表日 令和7年 1月 28日
利用児童

数 23名

回収数 18

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	4		5	・子どもが遊べているので、いいと思います。 ・現在の人数や様子を見ていない。	事業所内相談にお越し頂いた際にご覧頂けるよう対応させていただきます。また、お便りやInstagramで様子の分かる写真の掲載に努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	2		1	・いつもありがとうございます。 ・現在の人数や様子を見ていない。	適切な人数を守っています。また、お子さんの状況や必要に応じて多く入る事もあります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	4		4	・すべりどめ等ついていて、すごいいいと思いました。 ・現在の人数や様子を見ていない。	事業所内相談にお越し頂いた際にご覧頂けるよう対応させていただきます。また、お便りやInstagramで様子の分かる写真の掲載に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13			5	・とてもきれいだと思います。 ・現在の人数や様子を見ていない。	お便りやInstagramで様子の分かる写真の掲載に努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1			・知らなかったことが分かり、発見がありました。 ・本人が楽しそうだから。 ・思います。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1			・本人が楽しそうだから。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18				・一人一人違った目標を立てられていると思います。 ・成長がすぐ見られる。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18				・まずは身近なことからできるように、そして、大きなことも目標にしていくことによって、がんばれると思います。 ・度々の面談でくわしく、子どもの	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1			・思います。できないことができるようになっているのがうれしいです。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	2		1	・いろいろなゲームをしたり、活動内容が工夫されていると思います。 ・本人が楽しみにしている。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	1	7		児童館等に出かけ、他のお子さんがいる中で遊ぶ機会を設けています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	1				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17		1			契約時や計画更新時等に説明を行うようにしています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	5	5	5		講習会や親子で参加出来るイベントがある際は、お知らせするようにしています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1			「今日は〇〇をしました。」と教えてくださり、本人が楽しそうでごちそうらうれしいです。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	1	1		半年に1回以上、事業所内相談を行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	2				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされ	2	1	10	5		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	2		2	話しをしっかりと聞いてくださいました。	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	2				
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	7			・SNSが上がっていると思うが、次々とうろしんされ見れず流れてしまう。		

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1			・よく分かりません。	引き続き個人情報の取り扱いに注意させていただきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2		3	・くんれんをすることによって身につくので、とても助かります。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	2		3	・よく分かりません。	定期的に避難訓練を行っております。お便りやInstagramで様子の分かる写真の掲載に努めます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1		3	・よく分かりません。	事業所内で委員会を設置し、職員の研修を行うなどして安全に療育を行えるよう努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。	13	2		3	・事前にお話しされました。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	3			・通所の日はとてもたのしそうにしています。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	4	1		・毎日行きたそうです。	楽しく通所できるよう、職員一同より努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1	1		・とてもつかっています。	事業所の支援に満足して頂けるよう、職員一同努力してまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
児童発達支援くるく3		令和7年 1月 28日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		おやつを食べる部屋と療育部屋を分け十分なスペースを確保しています。	活動内容によっては部屋を分けて行うことを協議する必要があります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用人数に応じて、若干多めに職員の配置を行っています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		トイレの順番待ちの目印や手洗い場の踏み台を用意し配慮しています。また、階段にはマットを付け、滑りにくくしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日支援後の掃除を行い、おもちゃ消毒を行っています。また、不要な情報がないように必要な物だけ出すように工夫しています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		療育室以外におやつ部屋、相談室とあるため、個別の場所を確保できます。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		活動前に打ち合わせを必ず行うようにしています。また、お子さんの状況に合わせて、その都度対応を話し合うようにしています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員の面談を設け、職員の意見を取り入れるようにしています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による評価を行いたいと思っておりますが具体的な動きには繋がっていない為、今後実施したいと考えております。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内研修や外部研修に参加するようにしています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに掲載しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		アセスメントと事業所内相談を定期的実施し、個別支援計画書を作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員とモニタリングを行い、その日いなかった職員には記録にて全員に共有をするようにしています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		モニタリングや記録での周知を行っています。また初回の利用時には、職員間で子どもの情報共有を行うようにしています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		利用児の特徴・特性に合った支援計画の作成に努めています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員全体で打ち合わせを行い活動内容を決めています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		運筆、運動遊び、製作など月を通して様々な活動に取り組めるよう計画しています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別または小集団の専門的支援や集団で行う活動と計画を立て取り組んでいます。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日あった出来事などの共有事項を日誌に記載することや、終礼で伝えるなどして職員全員が把握できるよう努めています。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		前回の反省を踏まえ活動内容を検討し設定しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		全員でカンファレンスを行い、より良い支援計画に努めています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と連携し、様々なニーズのお子さんの受け入れが出来るよう体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		園長会に参加したり、送迎時に園の職員と情報共有をし、相互理解を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者からの要望で学校に提出するための発達検査を行いました。	今後必要に応じて小学校との情報共有を検討していく必要性があります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	31	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			機会があれば、話を伺い、支援事業をより良くしたいと考えます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		同じ活動をする機会はないが、公園や児童館など他の子どもと交流の機会があります。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		研修や講習会の機会があればお知らせするようにしています。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に資料を見ながら丁寧に説明するようにしています。また、保護者様に説明内容の資料をお渡しするようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		事業所内相談より、保護者意見やお子様のニーズを聞き取ります。それを踏まえて作成するようにしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画を見ながら、一つづつ丁寧に説明を行うようにしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			今後の開催について検討をしていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		職員間で連携し、相談できる体制を整えています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月のお便りやInstagramにて発信しています。	Instagramにて定期的な更新が出来るよう努めます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		単語や絵カードを使い分かりやすく端的に伝えるなど、利用者に合わせた対応を心掛けています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			活動内容を模索しているところであり、今後実施したいと考えます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアル作成を行い、保護者様にお配りしています。また、事業所内にて訓練の実施をしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を 確認しているか。	○		お子さんの状況は事前に確認し、職員全 員に周知するようにしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づ く対応がされているか。		○		意思の意見書を求めたことはありません 。今後必要に応じて対応致します。通所 語に発疹などの症状が見られた場合には 速やかに保護者様への連絡をし、対応さ せて頂いております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必 要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行わ れているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう 、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知してい るか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策に ついて検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な 対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組 織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を 得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			事業所内で身体拘束を実施した事例はあ りませんが、身体拘束における指針を作 成しております。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援くくる3		
○保護者評価実施期間	平成36年12月1日		平成37年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	平成36年12月16日		平成37年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	平成37年1月24日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・療育の内容が子どものニーズに合わせて行われているところ。	・毎月の活動は、子どもたちの今の姿や計画を踏まえて内容を決定している。 ・個々に寄り添う言葉掛けを意識している。 ・イラストや絵カードを使用して、分かりやすい支援へ繋げている。	・定期的な職員同士のカンファレンスを行っていること。 ・様々な活用が出来る教材の製作。
2	・子どもたちのニーズを理解し、その子に合う声掛けや対応が丁寧に行えるところ。また、子どもに寄り添う支援が出来るところ。	・「みんな一緒」という認識ではなく、発達の個性を事業所全体で共有し、支援の方向性を揃えるようにしている。 ・個々に寄り添う言葉掛けを意識している。 ・必要に応じて、子どもと一対一でじっくり話す時間を設け問題解決に繋げている。	・日々変化のある子どもたちの状況を打ち合わせ等、職員間で共有し合うこと。 ・研修や講習会を活用した、職員のスキルアップに取り組むこと。
3	・言語聴覚士がおり、専門的な視点で子どもたちの発達をみることが出来る。保育士だけの視点ではなく様々な視点から子どもたちの発達の支援をすることが出来る。	言語聴覚士による、個別や集団での療育と保育士や児童指導員等による5領域を意識した療育を行っている。	・専門的支援を積極的に取っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の入れ替わりが多く、子どもたちとの信頼関係に繋がりにくい。	・新しい職員は必要であるが、入れ替わりが多いと子どもたちの刺激へと繋がってしまう。 ・他事業所の事情もあるため、入れ替わりを防ぎきることは出来ないが、職員の雰囲気作りも療育の一つと考える。	・新しい職員への情報共有や療育の方向性の統一をしっかりと学んでもらい、療育へ参加していく必要がある。 ・職員の働き方の見直し(協力しあえる環境、情報共有をこまめにとり、円滑なコミュニケーションが取れる環境など)を積極的に取り組んでいきます。
2	作業療法士、理学療法士がいないこと。	・発達へのアプローチの視点が偏ってしまう。 ・療育の質を上げるためには、様々な視点からアプローチできるよう作業療法士や理学療法士が必要。	・今いる職員で指先、体幹、言葉など様々な視点から考えられる活動を設定し、バランスよく発達に促せるよう取り組んでいきます。 ・研修や講習会など活用し、職員のスキルアップに勤めます。
3			